

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/08/13

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.39	-0.08
JPY/THB	0.2191	-0.0001
USD/JPY	147.84	-0.31
EUR/THB	37.82	0.09
EUR/USD	1.1675	0.0060
USD/CNH	7.185	-0.012
SGD/THB	25.25	0.03
AUD/THB	21.15	0.00
USD/INR	87.71	0.05
USD Index	98.10	-0.42

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.259	0.000
10Y (THB)	1.456	0.000
5Y (USD)	3.823	-0.014
10Y (USD)	4.289	0.004

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,348.9	-4.2
WTI (Oil)	63.17	-0.79
Copper	9,840.5	109.0

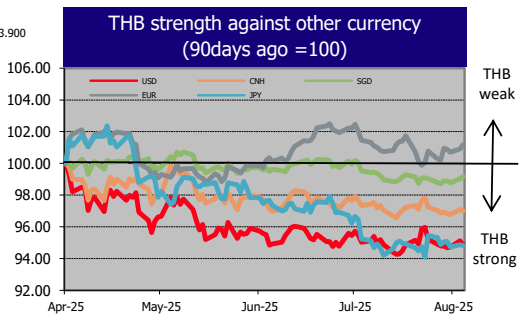
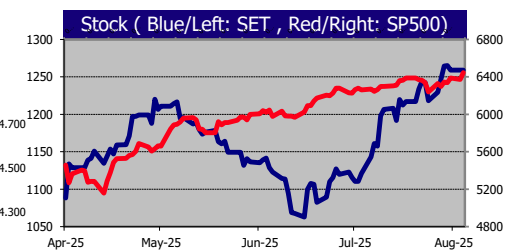
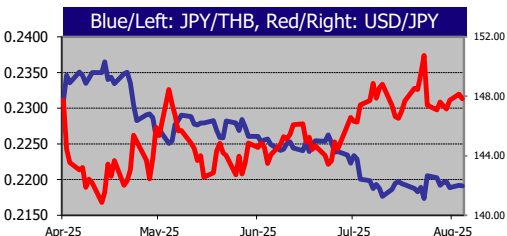
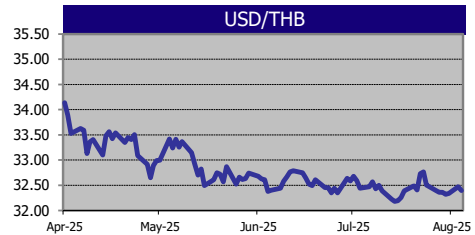
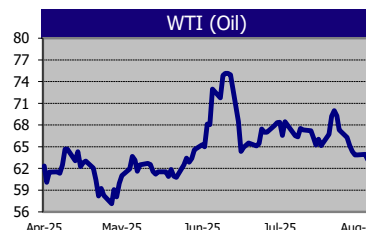
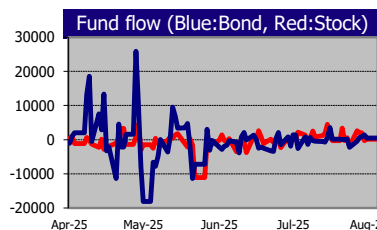
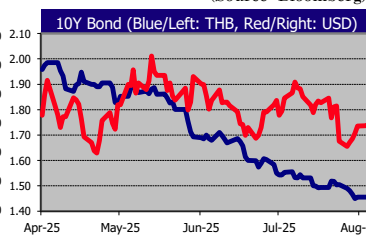
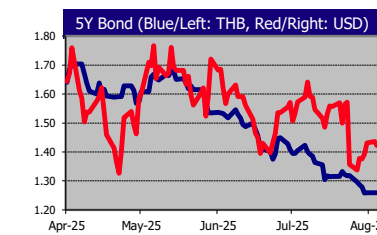
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,259.07	0.00
NIKKEI (JP)	42,718.17	897.69
DOW (US)	44,458.61	483.52
S&P500 (US)	6,445.76	72.31
SHCOMP (CN)	3,665.92	18.37
DAX(GER)	24,024.78	-56.56

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	106	0.0
Bond net flow	440	0.0

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

8日(金)・連休中のドルパーツは7月米CPI発表を控え様子見姿勢で基本的には32.30台のレンジで推移も、11日(月)からCPI発表まではポジション調整もあつてかドル高傾向。12日(火)は米中間税期限の90日延長やウクライナ停戦に対する期待感から市場はリスクオンとなり一時32.40台後半まで上昇するも、米国朝方に市場予想と概ねインラインのCPIが発表されると32.30台前半まで下落。その後は本日予定されているタイ中銀の金融政策決定会合での利下げを見込んだ動きから反発し、32.30台後半でクローズを迎えた。

●ドル円その他

8日(金)・連休中のドル円は米CPI発表を控え147円台前半で様子見も、11日(月)中のCPI発表前のポジション調整とみられる動きに12日(火)の日本株高によるリスクオンの動きが加わり148円台前半まで上昇。CPIが市場予想と概ねインラインとなると反落し、その後はレンジで推移して147円台後半で取引終了。

Bangkok Dealer's Eye

昨日発表された7月米CPIは、前年同月比で総合は+0.2%、コアは+0.3%といずれも市場予想に概ね沿った内容となり、米株は大幅高、米金利は低下、ドルはほぼ全面安となりました。9月FOMCに関しては、金利据え置き、25bps利下げ、50bps利下げの3つのシナリオが想定されますが、現時点で市場での9月利下げ確率は9割を超えて折り込まれており、FRBは9月利下げに踏み切る公算が大きいと見られている中、今後焦点は今週の米小売統計、8月米雇用統計、8月米CPIなどで50bp利下げへ期待が高まるかどうかに移っていくことになると考えております。

また、本日はタイ中銀(BOT)のMPCが予定されています。先週8/6にはタイ7月のCPIが発表されたが前年比▲0.70%と4ヵ月連続のマイナスを記録。この結果を受け、タイ政府当局者からも「インフレターゲットのレンジに近づくべく、利下げをすべき」との発言が確認されるなど、BOTへの利下げ圧力が高まっており、市場では今回のMPCでの利下げ確率を一時7割以上折り込みました。一方で、セタブット現総裁の任期は9月までとなっており、今回は最後のMPCとなります。次期総裁に内定しているウィタイ氏は利下げ積極派と見られており、10月就任後のMPCも利下げを行うことが予見される中、これまで利下げに慎重な姿勢を貫いてきたセタブット総裁が本日どのような判断を下すか注目されます。(福島)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.